

北都銀 ナガマツ「金」



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2018年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

電子版

www.sakigake.jp

モバイル

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、「秋田魁新報」電子版「さきがけMOBILE」をご覧ください。

世界日本勢41年ぶりの快挙



女子ダブルス決勝 福島、広田組(手前)と対戦する永原(奥左)、松本組(南京)

バドミントンの世界選手権最終日は5日、中国の南京で各種目の決勝が行われ、女子ダブルスで永原和可那、松本麻佑組(北都銀行)が福島由紀、広田彩花組(岐阜トリッキーパーンダース)に2-1で逆転勝ちし、金メダルを獲得した。この種目の日本勢の優勝は1977年第1回大会の梶野尾悦子、植野恵美子組以来41年ぶり。永原、松本組は3回戦でリオデジャネ

イロ五輪覇者で前回銅メダルの高橋礼華、松友美佐紀組(日本ユニシス)にストレート勝ちして勢いに乗った。準々決勝はタイのペア、準決勝ではインドネシアのペアに快勝。初出場ですべての快挙を成し遂げた。永原 和可那(ながはら・わかな) 青森山田高時代の13年高校総体女子ダブルス優勝。松本とのペアで17年全日本総合3位。北都銀行。170センチ、61キロ。22歳。北海道出身。松本 麻佑(まつもと・まゆ) 永原と組んで17年カナダ・オープン優勝、今年7月のインドネシア・オープン準優勝。北海道・とわの森三愛高出身。北都銀行。177センチ、68キロ。22歳。北海道出身。